

大阪女子大学上方文化研究センター研究年報第6号別冊

大阪女子大学
附属図書館

椿亭文庫目録

凡例

- 一、この目録は、大阪女子大学附属図書館蔵椿亭文庫を収める（ただし、一枚刷りの番付等は除く）。椿亭文庫は、大阪女子大学名誉教授土田衛氏の寄贈にかかる蔵書である。
- 一、演劇関係書とその他の書とに二分し、その他の書については原則として『内閣文庫国書分類目録』にしたがった。そのため、該当する蔵書のない番号が飛んでいる場合がある。
- 一、書名は原則として内題から採り、それを欠くものは題簽によった。それらを欠くものについては、目録題・序題・尾題・柱記などにより、「 」をつけて示した。本目録編輯に際して仮題したものも同じである。
- 一、書名の下に形態・冊数・刊写の別、その下に書名の異称・著者・編者・校者・画師・出版年時・書肆等を記した。破損・虫損・汚損等で判読不能の場合は、□□または□□で示した。
- 一、形態は現装により、大・半・中・小・横等の文字で示した。
- 一、冊数は現装による大阪女子大学附属図書館所蔵の冊数を漢数字で示した。欠本のあるときは「 」で示し、欠本の冊数の明らかなき場合は、例えば「 」のごとく、その冊数を数字で表示した。合綴して一冊をなすものは「合」で示し、例えば「合二」のごとく、合綴されている冊数を下に数字で表示した。
- 一、刊本・写本の区別は「刊」「写」の文字で示した。
- 一、書名の異称については、記載のあるものすべてを「 」の中に記した。表記の違いは無視した。
- 一、著者・編者・校者・画師・出版年時・書肆等は、すべて原本の記載を写すように努めた。
- 一、書肆が二軒以上に及ぶときは原則として右端の書肆をもって代表させ、「他大阪二軒」のごとく記した。
- 一、刊記等を欠く場合は、序跋等の年時を記すように努めた。
- 一、その他、参考になる事項を注記し、記載の位置等を（ ）で示した場合がある。
- 一、上段に整理番号、下段に受入れ記号を示した。両者を合わせて請求番号となる。

本目録作成のための書誌調査には、大阪女子大学上方文化研究センターの兼任研究員である大阪女子大学人文社会学部人文学科日本語日本文学専攻の教員（青木賜鶴子・乾善彦・奥村和子・河合眞澄・山東功・西田正宏・村田右富実）があたった。資料の整理・入力にあたっては、川端咲子氏（神戸女子大学非常勤講師）の全面的な協力を得た。記して謝意を表す。

椿亭文庫のことも

土田 衛

椿亭文庫の由来を聞かれることがある。拙宅を訪ねていただいた方はすぐにご理解をいただけると思うが、我が家は至る所に椿が植えられている。夫婦共に椿が好きだからである。別に謂われのあるような椿ではなく、ホームセンターで買った苗木や、大島に旅したときにおみやげに買ったものなどが、今や一人前になっただけのことである。そこでイチビツで亭号を「椿亭」とすることにした。因みに、庵号は「撫松庵」、雅号は「椿亭老人」である。ただ一つだけ自慢できる椿がある。尾藤二洲の門下で、伊予小松藩の儒者である近藤篤山が愛した椿の子孫が一本、雑木の椿の中に鎮座ましまして。

私は蒐集家ではなく、単なる研究者である。従って私の蔵書はコレクターの目から見れば雑な、締まりのないものであろう。研究に必要か、将来必要になるかもしれない本を、見つけた機会に買っていたら、いつの間にか集まっていただけのことである。財布との相談も大きなことであつた。ただ有り難いことに、私が本を買いはじめた頃はまだ値段は安かつた。浄瑠璃丸本は、四百円以下は目に入つたら買うという心のルールを持っていたことを思い出す。丸本は今必要ではないものも、いつか必要になる可能性が大きいことと、そのころ写真に撮ると一冊四百円かかるということがその理由である。コピーというものはまだなかつた。百冊あまりの丸本はすべてそのころのものである。

私の身辺整理の手始めに、架蔵の和本を、お世話になつた大阪女子大学に寄贈しようと考え、段ボールに詰めて送りはじめたのが一昨年の秋からである。大学では早速の目録作りに精を出していただき、一年後には目録もほぼできあがつて、その刊行を待つばかりとなつた。面倒な仕事を手際よく進められた図書館と国文学研究室の皆さんに、心から御礼を申し上げる。架蔵していた本が公開され、少しでもお役にたつことができたなら、これほど嬉しいことはない。

（『大阪女子大学上方文化研究センター年報』第4号より抄録）

目次

<p>I 演劇……………五</p> <p>一 歌舞伎……………七</p> <p>1 役者評判記……………七</p> <p>2 台帳……………一四</p> <p>3 絵入根本……………一五</p> <p>4 その他……………一五</p> <p>二 浄瑠璃……………一〇</p> <p>1 正本……………一〇</p> <p>2 段物集……………一〇</p> <p>3 稽古本……………一〇</p> <p>4 その他……………一〇</p> <p>三 その他……………三</p>	<p>II その他……………三</p> <p>一 総記……………三</p> <p>三 仏教……………七</p> <p>四 言語……………六</p> <p>五 文学……………六</p> <p>七 歴史……………四</p> <p>八 地理……………四</p> <p>九 政治・法制……………四</p> <p>一 教育……………四</p> <p>二 理学……………四</p> <p>三 医学……………四</p> <p>四 産業……………四</p> <p>五 芸術……………四</p> <p>一六 諸芸……………四</p> <p>一八 準漢籍……………四</p> <p>一九 漢籍……………四</p>
---	--

I
演
劇

一 歌舞伎

1 役者評判記

- | | | | | | | |
|---|--------------|-----|------------------|----------------|-----|-----|
| 一 | 市村座狂言評判記 | 横一刊 | 明治十六年六月十日 | 編輯兼出版人 東京山田伊之助 | 滑稽堂 | ITI |
| 二 | (古評判記挿絵拾遺) | 横一刊 | 昭和四十一年五月の土田衛氏の識語 | 見開き四面・片面二面の貼込本 | | KOH |
| 三 | 新富座俳優評判記 第九編 | 横一刊 | 六月狂言 明治十三年九月十一日 | 編輯兼出版人 東京植木林之助 | | SIN |
| 四 | 新富座俳優評判記 第三編 | 横一刊 | 三月狂言 明治十二年三月廿四日 | 編輯兼出版人 東京植木林之助 | | SIN |
| 五 | 新富座俳優評判記 第四編 | 横一刊 | 六月狂言 明治十二年六月十六日 | 編輯兼出版人 東京植木林之助 | | SIN |
| 六 | 新富座俳優評判記 第四編 | 横一刊 | 六月狂言 明治十二年六月十六日 | 編輯兼出版人 東京植木林之助 | | SIN |
| 七 | 新富座俳優評判記 第七編 | 横一刊 | 二月狂言 明治十三年月日 | 編輯兼出版人 東京植木林之助 | | SIN |
| 八 | 新富座俳優評判記 第七編 | 横一刊 | 二月狂言 明治十三年月日 | 編輯兼出版人 東京植木林之助 | | SIN |

九 新富座俳優評判記 第十編 横一刊 明治十三年十二月二十七日 編輯兼出版人 東京植木林之助

一〇 新富座俳優評判記 第八編 横一刊 三月狂言 明治十三年六月十日 編輯兼出版人 東京植木林之助

一一 新富座俳優評判記 第六編 横一刊 十一月狂言 明治十二年十一月十三日 編輯兼出版人 東京植木林之助

一二 新富座俳優評判記 第六編 横一刊 十一月狂言 明治十二年十一月十三日 編輯兼出版人 東京植木林之助

一三 名に 日出扇 横一刊 天明七年未三月廿三日 大坂敦賀屋吉右衛門 沢村庄五郎

一四 役者当満寿 横一合二刊 文化十一年甲戌年三月吉日 江戸本清

一五 役者有難 横一刊 安永三年午正月吉日 京正本屋九兵衛 八文字屋八左衛門

一六 役者恵方参 横一刊 〔都の錦〕 元文五年申正月吉日 八文字屋八左衛門

一七 役者清榊葉 横一合二刊 作者八文舎自笑

一八 役者外題撰 横一合三刊 〔役者外題競〕 評者戲場堂夢遊 元治二丑年正月吉日 大坂河内屋平七

一九 役者現銀店 横一刊 天保乙未(題箋)

YAK

YAK

YAK

YAK

YAK

YAK

HIN

SIN

SIN

SIN

SIN

二〇	役者現銀店	横一合三刊	作者八文會自笑 五柳亭徳升 天保六年未正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助	YAK
二一	役者金剛競	横三刊	評者戲場堂夢遊 慶応二寅年正月吉日 大坂河内屋平七	YAK
二二	役者金剛伝	横一刊		YAK
二三	役者金剛伝	横一合三刊	評者戲場堂夢遊 文久二戌年正月吉日 江戸丁字屋平兵衛他京一軒名古屋一軒	YAK
二四	役者金剛伝	横一合三刊	評者戲場堂夢遊 文久二戌年正月吉日 江戸丁字屋平兵衛他京一軒名古屋一軒	YAK
二五	役者金剛力	横一合三刊	作者梅枝軒自笑 四文會我笑(京之卷) 東都百文會外笑(大坂之卷) 四文會我笑 百文會外笑(江戸之卷) 天保十一年子ノ正月吉日(大坂之卷) 天保十一年顔見世(江戸之卷) 大坂河内屋太助	YAK
二六	役者早速咆	横一合二刊	天保八酉ノ年正月吉日 大坂八文字屋八左衛門 河内屋太助	YAK
二七	役者三世相	横二刊	作者八文會自笑 梅枝軒泊鷺 天保五年丙午正月吉日	YAK
二八	役者四季詠	横一刊	天保四年(題箋)	YAK
二九	役者正月詞	横一刊	享保十一年午正月吉日 京八文字屋八左衛門	YAK
三〇	俳優商売往来	横一刊	〔役者商売往来〕 上のみ 安政七庚申(題箋)	YAK

三	俳優商売往来	横一合三刊	[安政七 中]役者商売往来) 評者俳優堂夢遊撰 安政七庚申(題箋) 江戸丁字屋平兵衛 大坂河内屋平七	YAK
三	役者正札附	横一合三刊	安政二乙卯年正月 大坂河内屋平七他京一軒名古屋一軒	YAK
三	役者神事競	横一刊	作者八文會自笑 梅枝軒泊鷺 文政七年甲申正月吉日	YAK
三	役者新世帯	横一合三刊	評者俳優堂夢遊 安政七年庚申三月 江戸丁字屋平兵衛他京一軒大坂一軒	YAK
三	役者新世帯	横一刊	評者俳優堂夢遊 安政七年申弥生	YAK
三	役者酸辛甘	横一刊	安永四年未正月吉日 京八文字屋八左衛門	YAK
三	役者早料理	横一合二刊	作者八文會自笑 大文會他笑 梅枝軒泊鷺(京大坂巻) 文政五年壬午正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助	YAK
三	役者大極丸	横一刊	作者自笑 文化三年寅正月吉日 八文字屋八左衛門	YAK
三	役者碇言草	横一合三刊	判者夢遊(中巻) 梅月亭有蝶(下巻) 万延二酉年正月吉日 江戸丁字屋平兵衛他名古屋一軒大坂一軒	YAK
三	役者珠玉尽	横一合三刊	作者八文會自笑 楚瀟人 文政九年丙戌正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助	YAK
三	役者多見賑	横一合三刊	作者八文會自笑 大文會他笑 梅枝軒泊鷺(京大坂の巻) 文政六年癸未正月吉日	YAK

四 役者智恵鏡

横一刊

作者八文會自笑他

YAK

四 役者千鳥肩位指

横三刊

明和六年丑正月吉日 京正本屋九兵衛 八文字屋左衛門

YAK

四 役者註真庫

横二刊

作者八文會自笑 梅枝軒泊篤 文政十丁亥年正月二日 八文字屋八左衛門 河内屋太助

YAK

四 役者当撰鏡

横一合三刊

評者戲場堂夢遊 文久四年甲子正月吉日 河内屋平七

YAK

四 役者当撰鏡

横一合二刊

作者八文會自笑 文化十五年寅正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助

YAK

四 役者謎懸論

横一合三刊

作者八文會自笑 文化十三年丙子正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助

YAK

四 役者謎懸論

横一刊

文化十三年丙子正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助

YAK

四 役者男紫花

横一刊

安永八年亥正月吉日 京八文字屋八左衛門

YAK

五 役者人相鏡

横一刊

作者自笑 寛政七年卯正月吉日 八文字屋八左衛門

YAK

五 (役者初白粉)

横一刊

宝曆十一年巳正月吉日 京八文字屋八左口

YAK

五 役者花威草

横一刊

作者八文會自笑 梅枝軒泊篤 天保三年辰ノ三月吉日

YAK

三 役者花見幕

横一合三刊

作者八文會自笑 大文會他笑 梅枝軒泊鴛(京大坂の巻) 文政八年乙酉正月吉日 江戸鶴屋嘉右衛門 他名古屋一軒京一軒大坂二軒

YAK

四 役者蟲貞升

横三刊

安永九年子十一月吉日 江戸中山清七

YAK

五 役者ひめ飾

横一刊

作者八文會自笑 天保九戌戌年正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助

YAK

六 役者評判記

横一刊

〔役者手柄競〕 天保十亥年正月吉日 大坂八文字屋八左衛門 河内屋太助

YAK

七 明治十一年
寅之二ノ替り 俳優評判記

横二刊

編輯者中井恒次郎 明治十一年四月十六日届 大坂玉置清七

YAK

八 俳優評判記十五編

横一刊

四月狂言 明治十五年五月廿二日 編輯兼出版人 東京植木林之助

YAK

九 俳優評判記廿六号

横一刊

明治十八年四月日 編輯兼出版人 東京植木林之助

YAK

十 〔役者舞台扇〕

横一刊

作者撰都四文會我笑 百文會外笑(京大坂巻) 四文會我笑 百文會外笑(江戸巻) 天保十二年丑ノ正月吉祥日(京大坂巻) 天保十二子年顔見世(江戸巻) 大坂 河内屋太助

YAK

十一 役者文相撲

横一刊

延享五つちのへたつの年 京八文字屋八左衛門

YAK

十二 役者武勇競 役者舞遊問答

横二刊

〔役者舞遊問答〕(下巻内題) 作者八文會自笑 四文會浪丸 嘉永七年寅正月吉辰 京吉野屋勘兵衛 他 大坂一軒尾州一軒

YAK

三	役者武勇競 役者舞遊問答	横一合三刊	「役者舞遊問答」(下卷内題) 作者八文會自笑 四文會浪丸(京大坂の巻) 四文會浪麻呂 東山亭花 楽 長丁舎山鳥(顔見世下巻) 嘉永七年寅正月吉辰 京吉野屋勘兵衛他大坂一軒尾州一軒	YAK
四	役者武勇競 役者舞遊問答	横一合二刊	「役者舞遊問答」(下卷内題) 作者八文會自笑 四文會浪丸 嘉永七年寅正月吉辰 京吉野屋勘兵衛 他大坂一軒尾州一軒	YAK
五	役者舞遊問答	横一刊	作者八文會自笑 梅枝軒泊篤 天保三年辰ノ正月吉日	YAK
六	役者舞遊問答	横一合三刊	作者八文會自笑 梅枝軒白篤 天保三年壬辰正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助	YAK
七	役者不老紋	横一合三刊	明和七年寅正月吉日 京八文字屋八左衛門	YAK
八	役者豐歳藏	横三刊	〔役者豊年藏〕 撰者七文會鬼笑 弘化五年戊申の初春	YAK
九	役者糸竹曲	横一刊	自笑述 安政六巳未春(題簽)	YAK
十	役者三都鑑	横二刊	作者八文字屋自笑 梅枝軒泊篤 文政十一年戊子正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助	YAK
十一	役者三都鑑	横一合三刊	作者八文字屋自笑 梅枝軒泊篤 文政十一年戊子正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助	YAK
十二	役者三組盃	横一刊	寛政七乙卯五月十八日 本清	YAK
十三	役者名山尽 役者糸竹曲	横一合二刊	「役者糸竹曲」(下卷内題) 作者俳優堂夢遊 大坂河内屋平七他京一軒名古屋一軒	YAK

七四 役者名物合

横一刊

作者八文會自笑 文化十四年丁丑の正月吉日 八文字屋八左衛門 河内屋太助

YAK

七五 役者名物合

横一合三刊

作者八文會自笑 文化十四丁丑正月吉日 文化十四年丙丑の正月(大坂の巻) 八文字屋八左衛門
河内屋太助他江戸一軒名古屋一軒京一軒

YAK

七六 役者名物合

横一合三刊

作者八文會自笑 文化十四丁丑正月吉日 文化十四年丙丑の正月(大坂の巻) 八文字屋八左衛門
河内屋太助他江戸一軒名古屋一軒京一軒

YAK

七七 役者遊見始

横一刊

享保十三年申ノ正月吉日 京八文字屋八左衛門

YAK

七八 役者初渡橋

横二刊

金多楼好成 安政五戊午春(題簽) 京吉野屋勘兵衛 大坂河内屋平七(裏見返)

YAK

2 台帳

七九 扇矢数四十七本

半一写

上の巻

OUG

八〇 織合襪樓錦

半四写

享和三年十月五日大坂中座上演(土田衛氏考証)

ORI

八一 敵討優曇華龜山

半八写

大序から大切

KAT

八二 隅田川恋の一軸

半一写

〔都鳥吾妻の世話事〕 常盤津長唄所作事 大切

SUM

三 伊達競阿国戯場

半一写

〔井筒外記左衛門屋敷之段〕

四 天下茶屋敵討

半一写

〔早瀬屋敷の段二段目〕

3 絵入根本

八五 絵本いろは仮名四谷怪談

半八開刊

天保五年甲午仲秋発版 大坂河内屋太助他名古屋一軒京一軒

八六 累ヶ淵恋柵

半二開刊

〔東土産写絵怪談〕 卷之四・五のみ

八七 忠臣いろは四十七訓

半五刊

前編卷之一、前編卷之五 戴文堂（見返）

八八 俳優浜真砂

半八刊

〔滑稽役者浜真砂〕 天保十三年壬寅孟春 大坂河内屋太助他尾州一軒京二軒

4 その他

八九 あなさくり

半一刊

東鱗作 明和七龍庚寅寅月

九〇 五百崎虫の評判

横一刊

白猿談洲楼焉馬作 享和四年甲子初春

二 市川白猿口上

小一刊

旭真葉雪述 寛政ひつしの春(序)

ITI

三 狂言一夜附

小二刊

松寿楼永年著 歌川国貞画

ITI

四 (以代美満寿)

中一刊

〔白猿追善手向〕(書題箋)

IYO

五 絵本亀山話

半一〇刊

速水香曉斎画 享和三年癸亥初春 大坂津国屋清五郎他二軒京四軒 京河内屋藤四郎他江戸八軒大坂二軒(裏見返)

EHO

六 絵本胡蝶夢

半五刊

〔八百屋絵本胡蝶夢〕 文化四丁卯年三月吉祥 大坂塩屋長兵衛他京一軒江戸一軒

EHO

七 絵本玉藻譚

大五刊

法橋玉山画 文化乙丑のとし後の葉月(跋文)

EHO

八 絵本舞台扇

大三刊

大正六年八月二十日 国書刊行会 吉川弘文館

EHO

九 小あらし過去物語

半一關二刊

編蝠軒述 寛政九歳丁巳三月吉日 大坂阿波屋清治郎他二軒

KAK

一〇 桂川恋仇浪

半五刊

〔絵本桂川恋仇浪〕 〔おはん桂川恋仇浪〕 文化二丑九月 大坂群玉堂河内屋岡田茂兵衛

KAT

一一 追善記念歌舞伎展覧会図録
市川家

大 一刊

大正七年五月十五日 京芸艸堂 大正六年十一月日本橋白木屋呉服店に於ける九代目市川團十郎没後十五周年記念の展覧会の図録

KAB

一二 清帳

一写

安政五年午正月大吉日 御霊芝居鶴太夫(裏表紙) 大福帳仕立て

KIY

一〇三	〔三都草の種〕 劇場草の種	大1刊	八文字屋	KUS
一〇三	劇場画史	大2刊	流光斎如圭画 藤木金米拳勒 享和二年四月(序) 盈香舎	SIB
一〇四	劇場粹言幕の外	小1刊	式亨三馬戲著 文化三年自序	KEJ
一〇五	〔五福競善惡評判記〕	小1刊	〔忠臣蔵替役評判記〕 明治十二年出版届印 東京山村金三郎	GOH
一〇六	〔戯場一覽三座例遺誌〕	中1刊	享和三癸亥青陽日 江戸上総屋忠助他二軒	SAZ
一〇七	沢村家賀見	中1刊	叙下堂波静撰 五渡亭国貞画 文化八辛未年霜月 江戸永寿堂西村与八	SAW
一〇八	三芝居声色舞台鏡	中1刊	歌川豊国画 弘化五戌申春 文黒堂にし半	SAN
一〇九	三芝居細見	中1刊	五渡亭国貞画 五柳亭徳升撰 文政丙戌正月 江戸錦森堂他一軒(見返)	SAN
一一〇	〔芝居細見三葉草〕	小一合三刊	立川焉馬撰 歌川国貞画 天保四癸巳年孟春 森屋治兵衛他一軒 錦森堂 錦耕堂(見返)	SAN
一一一	劇場いつまで草	半一關刊	文化五辰年孟春 河内屋太助	SIB
一一三	劇場訓蒙図彙	半五刊	式亨三馬著 勝川春英画 歌川豊国画 享和三歳次癸亥春開雕 江戸万屋太次右衛門他一軒 文化三 丙寅年十月求板 江戸上総屋忠助	SIB

二三	〔戯場仕方俳諧〕	小一刊	〔顔見世戯場篇〕〔納涼宵楼曲〕 天明三年序	SIK
二四	劇場の噂	横一刊	〔顔見世戯場噂〕 八文舎自笑 文々亭有丸作 嘉永七寅年孟春 江戸吉田屋文三良他大坂三軒伏見一軒京三軒	SIB
二五	劇場の噂	横一刊	〔顔見世戯場噂〕 八文舎自笑 文々亭有丸作 嘉永七寅年孟春 江戸吉田屋文三良他大坂三軒伏見一軒京三軒	SIB
二六	素人狂言紋切形	小四刊	式亭三馬戯編 歌川国貞画 文化九年壬申四月下浣(序)	SIR
二七	弦曲粹弁当 改補	横一刊	天明元辛丑年初秋 江戸山本金兵衛他大坂三軒	SUI
二八	玉の光	中一合二刊	寛政八辰五月吉日 八文字屋八左衛門	TAM
二九	〔戯劇百人一首闇夜磔〕	小一刊	越谷山人述 眉山竹孫画 天保四癸巳孟春改刻 保永堂(見返) 江戸竹内孫八 末尾二丁半写本	DOU
三〇	当世芝居氣質	半三關一刊	〔新版 絵入 当世芝居氣質〕 半井金陵作 卷四欠 やすらかに永き六のとしはつ春(序)	TOU
三一	並木正三冥途旅立	半一写	『考証元禄歌舞伎』参照	NAM
三二	中村歌右衛門 古郷へはれの錦絵姿	中二刊	八文舎自笑作 文化九申年十月 大坂文金堂蔵 河内屋太助	NIS
三三	扶桑古今役者師弟系	中一刊	左界庵門三著 嘉永三戊春 大坂江戸屋吉五郎他京一軒	NIP

三四	比翼紋意気地鏡	半一合刊	香蝶楼国貞画 江戸和泉屋市兵衛	HIY
三五	妙々戯談	中二刊	〔中村芝翫妙々戯談〕 南地亭金楽作 天保五甲午春 河内屋太助他三軒 〔東郷殿別〕	MYO
三六	〔役者揮毫帖〕	折帖一写	昭和廿八年正月南座ガクヤ	YAK
三七	役者全書	中一刊	八文舎自笑述 安永甲午仲夏(序末)	YAK
三八	役者必読妙々痴談	小一関刊	上巻のみ	YAK
三九	〔役者ほめ言葉六種〕	小一刊	〔市川団四郎ほめことば〕他六種の合冊	YAK
三〇	役者名物袖日記	中二刊	万里亭夫古工考訂	YAK
三一	役者世々乃接木	中四関刊	金多楼著述(貳集) 俳優堂夢遊著(三集・四集) 俳優堂夢遊撰(五集)	YAK

二 浄瑠璃 (義太夫・常磐津・その他)

1 正本

一三三 あこぎの平次 半一刊 十行本 (ひらかなあこぎの平次) 京鶴屋喜右衛門他江戸一軒

一三二 伊勢平氏年々鑑 半一刊 七行本 竹本上総掾 作者竹田出雲 京山本九兵衛 大坂山本九右衛門

一三〇 一谷嫩軍記 半一刊 十行本 豊竹越前少掾 豊竹筑前少掾 作者浅田一鳥他 宝暦元辛未臘月十一日 江戸鶴屋口右衛門 京鶴屋口右衛門

一二九 十三鐘 緇懸柳妹背山婦女庭訓 半一刊 七行本 座本竹田新松 (内題下) 作者近松半二他 大夫連名 明和八辛卯年正月廿八日

一二八 いろは歌義臣整 半一刊 七行本 豊竹越前少掾 豊竹筑前少掾 作者黒藏主 中邑阿契 明和元甲申年閏臘月十五日 大坂正本屋小兵衛他江戸一軒

一二七 弘法いろは物語 半一刊 七行本 太夫元鶴沢伊之助 作者佐川藤太 浄瑠璃太夫役割人形役割 文化四丁卯年二月廿三日 江戸松本平助他大坂四軒

一二六 浦嶋太郎倭物語 半一刊 十行本 作者浅田一鳥他 作者為永太郎兵衛 (内題下) 京菱屋治兵衛

URA IRO IRO IMO ITI ISE AK

- 三九 繪本太功記 半一刊
七行本 豊竹若太夫 豊竹此太夫 座本豊竹諏訪太夫 太夫豊竹麗太夫(外題下) 作者近松やなぎ
他 太夫連名 寛政十一年未七月十二日 安政二年卯八月再版 大坂加嶋清助
- 四〇 役行者大峰桜 半一刊
七行本 竹本大和椽 竹田出雲椽 作者竹田外記 近松半二 竹田文四 寛延四年辛未十月十七日
京山本九兵衛他大坂一軒江戸一軒
- 四一 奥州安達原 半一刊
七行本 作者近松半二他 作者竹田和泉(内題下) 太夫連名 宝曆十二年壬午九月十日 大坂山本
九葉亭他大坂三軒京一軒江戸一軒
- 四二 近江源氏先陣館 半一刊
七行本 座本竹田新松(内題下) 作者近松半二他 太夫連名 明和六己丑年十二月九日 大坂加嶋
清助
- 四三 小栗判官車街道 半一刊
七行本 竹本播磨少椽 竹田出雲 作者千前軒 文耕堂(内題下) 京正本屋山本九兵衛 大坂山本
九右衛門
- 四四 江戸文七髻結 大坂文七紺屋男作五鴈金 半一刊
七行本 竹本播磨少椽 作者竹田出雲椽 京正本屋山本九兵衛 大坂山本九右衛門
- 四五 女殺油地獄 大一刊
七行本 平成八年近松全集刊行を記念し天理図書館蔵版本により新刷 平成八年十月 近松全集刊行
会(大坂山本九葉亭他京一軒江戸一軒大坂一軒)
- 四六 局岩藤かゝ見山旧錦絵 半一刊
七行本 座元豊竹新太夫 作者 容楊巖 浄瑠璃役割 天明二壬寅年正月二日 西宮新六(外題下)
中考尾上
- 四七 加々見山廓写本 半一刊
七行本 座本竹本愛蔵(内題下) 作者中村魚眼 太夫連名 寛政八丙辰正月二十九日 大坂加嶋清
助 紙屋与右衛門(外題下)

KAG

KAG

ONN

OTO

OGU

OUM

OUS

ENN

EHO

一四 加々見山廓写本

半一刊

七行本 座本竹本愛藏 作者中村魚眼 太夫連名 寛政八丙辰正月二十九日 大坂加嶋清助 紙屋与右衛門(外題下)

KAG

一四 金毘羅 敵討稚物語
御利生

半一刊

七行本 竹田出雲掾(内題) 作者近松半一 竹本三郎兵衛 淨瑠璃役割(見返) 太夫連名 明和元年申七月十五日 京山本九兵衛他江戸一軒

KAT

一五 敵討襪樓錦

半一刊

七行本 作者文耕堂 三好松洛 大坂山本九葉亭他京一軒江戸一軒大坂一軒 玉水源次郎(外題下)

KAT

一五 敵討襪樓錦

半一刊

七行本 作者文耕堂 三好松洛 京山本九兵衛他江戸二軒大坂一軒 玉水源次郎(外題下)

KAT

一五 仮名手本忠臣蔵

半一刊

七行本 作者竹田出雲他 寛延元年辰八月十四日 大坂山本九葉亭他京一軒江戸一軒大坂一軒 玉水源次郎(外題下)

KAN

一五 仮名手本忠臣蔵

半一刊

十行本 作者竹田出雲他 寛政元年辰八月十四日

KAN

一五 源頼家 鎌倉三代記
源実朝

半一刊

七行本 淨瑠璃役割 安永十年丑三月廿七日

KAM

一五 助六 紙子仕立両面鑑
揚卷

半一刊

七行本 豊竹駒太夫 豊竹此太夫 豊竹鐘太夫 座本豊竹此吉(内題下) 作者菅専助 明和五年戊子臘月廿一日 大坂正本屋小兵衛他江戸一軒

KAM

一五 苧萱桑門筑紫轆

半一刊

十行本 作者並木宗輔 丈輔 菊屋七郎兵衛(外題下)

KAR

一五 祇園祭礼信仰記

半一刊

十行本 座本豊竹越前少掾(内題下) 作者中邑阿契他 宝曆七年丁丑臘月初五日

GIO

- 一五 坂本義士の書添 手本 半一刊 七行本 座本竹本房太夫(内題下) 享和三年亥八月十九日
- 一五九 岸姫松轡鑑 半一刊 七行本 豊竹若太夫 豊竹此太夫 座本豊竹越前少掾(内題下) 作者豊竹応律他 太夫連名 宝曆十二年閏四月十八日 大坂西沢九葉軒他大坂三軒京一軒江戸一軒 紙屋与右衛門(外題下)
- 一六〇 鬼上官漢土日記 半一刊 七行本 座本豊竹虎次郎 作者近松柳助 千葉軒事近松松輔 寛政八丙辰年霜月八日 京菊屋七郎兵衛他大坂二軒
- 一六一 京土産名所并筒 半一刊 七行本 竹田出雲掾 作者長谷川千四 京正本屋山本九兵衛
- 一六二 楠正成軍法実録 半一刊 十行本 豊竹越前少掾(外題下) 作者並木宗輔 安田蛙文 京菱屋治兵衛
- 一六三 久米仙人吉野桜 半一刊 十行本 豊竹越前少掾 作者為永太郎兵衛 寛保三龍集昭陽大淵猷年秋八月十五日 京鶴屋喜右衛門
- 一六四 太平記車還合戦桜 住吉巻 半一刊 十行本 作者文耕堂 京八文字屋八左衛門
- 一六五 忠臣名替 白狐靈徳契情小倉の色紙 半一刊 七行本 竹本政太夫 竹本綱太夫 作者山田家山子 春の家有斎 太夫連名 天保十一庚子年正月吉日 大坂塩屋喜兵衛
- 一六六 恋の角文字 傾城出口柳 振袖の往昔 半一刊 宮古路豊後直伝(題箋) 大坂天満屋源二郎
- 一六七 正保粧水絹川堤 四年 半一刊 七行本 座本幾竹嶋吉 作者東勇助 明和五戊子歳相月中五日 江戸鱗形屋孫兵衛他大坂一軒

一六 日本建仁寺供養 半一刊 十二行本(一丁表のみ十行) 作者西沢一風 田中千柳 山本九兵衛

一六九 待宵侍従 源平布引滝 半一刊 十行本 作者並木千柳 三好松洛 寛延二年巳十一月二十八日

一七〇 恋女房染分手綱 半一刊 七行本 竹本大和椽 竹田和泉椽 作者吉田冠子 三好松洛 寛延四年辛未二月朔日 京山本九兵衛 他大坂一軒江戸一軒

一七二 恋娘昔八丈 半一刊 六行本 座元豊竹新太夫(内題下) 作者松貫四 吉田角丸 浄瑠璃役割 安永四年乙未九月廿五日

一七三 国性爺合戦 半一刊 七行本 作者近松門左口 京山本九兵衛他江戸一軒大坂一軒

一七三 後三年奥州軍記 半一刊 七行本 豊竹若太夫 作者並木宗助 安田蛙文 江戸鱗形屋孫兵衛版他大坂一軒

一七四 姉は宮ぎの碁太平記白石噺 半一刊 七行本 名代薩摩屋小平太 座元豊竹新太夫 浄瑠璃作者連名 浄瑠璃役割 安永九年庚子正月二日 江戸春松軒西宮新六

一七五 文楽三蔵の経取 釈迦如来の出山五天竺一 孫悟空の仙術 半一刊 七行本 太夫本鶴沢伊之助 太夫豊竹巴太夫 作者佐川藤太他 文化十三丙子年八月朔日 京八木治 兵衛他江戸一軒大坂六軒

一七六 小田の結納 木下蔭狭間合戦 斎藤の色直 半一刊 七行本 名代薩摩屋小平太 座元豊竹新太夫 座本豊竹此吉(内題下) 作者若竹笛躬他 浄瑠璃太夫役割 寛政元己酉年二月廿一日 大坂佐々井治郎右衛門他二軒

一七七 曆 半一刊 行本(複製) 昭和七年八月十三日 貴重図書影印本刊行会(貞享二乙丑歳正月吉日 京山本九兵衛) 別冊に藤井紫影解題

KOY

KON

GOT

GOT

GOS

KOK

KOI

KOI

GEN

KEN

一七	菅原伝授手習鑑	半一刊	七行本 作者並木千柳他 竹田出雲作(内題下) 延享三年寅八月廿一日 山本九兵衛(外題下)	SUG
一八	菅原伝授手習鑑	半一刊	七行本 座本竹本義之助(見返) 作者近松半二 浄瑠璃太夫連名 安永九庚子年九月廿八日 大坂久松新版歌祭文 山本九葉亭他大坂二軒京一軒江戸一軒 玉水源次郎(外題下)	SIN
一九	時代新うすゆき物語	半一刊	七行本 作者文耕堂他 寛保元歳辛酉五月十六日 大坂山本九葉亭他京一軒江戸一軒大坂一軒	SIN
二〇	増生写朝顔話	半一刊	七行本 竹本重太夫 山田案山子遺稿 翠松園主人校補 嘉永三歳戊正月 大坂加嶋清助	SYO
二一	時代世話女節用	半一刊	七行本 作者玉水堂他 明和六年己丑七月十九日 冒頭三分写本	JID
二二	呪文の陣取しきしま操軍記 名歌の初恋	半一刊	七行本 座本豊竹越前少掾(内題下)	SIK
二三	三莊大夫五人嬢	半一刊	十行本 作者竹田出雲 京□□	SAN
二四	狭夜衣鴛鴦劔翹	半一刊	十行本 作者並木宗輔 京菊屋七郎□□	SAY
二五	勇将兼道 猛将真鳥魁鐘岬	半一刊	七行本 豊竹鐘太夫 豊竹此太夫 座本豊竹若太夫(内題下) 作者菅専助他 明和七庚寅年臘月十五日 大坂正本屋小兵衛他江戸一軒	SAK
二六	菊池姻袖鏡	半一刊	七行本 座本竹田因幡掾(内題下) 太夫連名 明和二年乙酉九月十二日 京山本九兵衛他大坂一軒 江戸一軒	KON

一八 菅原伝授手習鑑

半一刊

七行本 作者並木千柳他 竹田出雲作(内題下) 延享三年丙寅八月廿一日 大坂山本九葉亭他大坂三軒京一軒江戸一軒 再版

SUG

一八 須磨都源平躑躅

半一刊

十行本 作者文耕堂 長谷川千四

SUM

一九 染模様妹背門松

半一刊

七行本 豊竹若太夫 豊竹此太夫 座本豊竹此吉(内題下) 作者菅専助 明和四歲丁亥臘月十五日 大坂西沢九葉軒他京一軒江戸一軒大坂一軒

SOM

一九 たいしよくわん

半一刊

九行本 [万延新刻] 大しよくわん

TAI

一九 南朝正平四年太平記菊水之巻
北朝貞和五年

半一刊

七行本 竹田小出雲(内題下) 作者二歩堂他 大夫連名(奥書) 宝曆九年己卯九月十六日 京

TAI

一九 尊氏將軍二代鑑

半一刊

十行本 豊竹上野少掾直伝(題簽) 作者並木宗助 安田蛙文 京八文字屋八左衛門

TAK

一九 伊達錦五十四郡

半一刊

[女頼朝伊達錦五十四郡] 七行本 竹本大和掾 作者三好松洛他 作者竹田外記(内題下) 宝曆二壬申年霜月十六日 京山本九兵衛他大坂一軒江戸一軒

DAT

一九 田村磨鈴鹿合戦

半一刊

七行本 豊竹若太夫 豊竹此太夫 作者浅田一鳥 豊田正藏 大坂山本九葉亭他京一軒江戸一軒大坂一軒 玉水源次郎(外題下)

TAM

一九 丹波与作 昔語梅田烏

中一合二刊

宮古路豊後直伝(裏見返) 京 屋平兵衛 京松坂屋義八

TAN

一九 児源氏道中軍記

半一刊

十行本 竹本播磨少掾直伝(外題下) 作者竹田出雲(内題下) 三好松洛 竹田小出雲 延享元甲子 三月六日 京菱屋治兵衛

CHI

一九 忠臣金短冊

半一刊

作者並木宗助他 京菱屋治兵衛

CYU

一九 蝕蝕駄六一代噺

半一刊

七行本 豊竹肥前少掾 座本豊竹東治 作者吉田仲二 松貫四 安永三年午九月三日 大坂転法屋吉九郎他江戸二軒

DOK

二〇 小野炭焼七小町
深草公瓦師

半一刊

十行本 作者竹田出雲 京菊

NAN

二〇 兄も喝几浪華名所古跡辻
弟も合邦

半一刊

作者中村魚眼 浄瑠璃太夫連名 寛政六年甲寅正月二日

NAN

二〇 日蓮上人御法海

半一刊

七行本 座本豊竹越前少掾(内題) 豊竹若太夫 豊竹此太夫 作者並木鯨児 並木正三 添削浅田一鳥 並木宗輔 寛延四辛未年十月十日 大坂西澤九葉軒他京一軒江戸二軒

NIC

二〇 出陣は花の洛陽 瓢馬印黄金千生
戰場は雪の柳瀬

半一刊

七行本 座本竹田百太郎(内題下) 作者梅野下風 近松梅枝軒 浄瑠璃太夫役割 文化九壬申年臘月廿六日

HAD

二〇 花樺会稽褐布染

半一刊

七行本 座本豊竹此吉(内題下) 作者菅専助 若竹笛躬 安永三甲午年八月十三日

HAN

二〇 金毘羅花上野誉の石碑
利生記

半一刊

七行本 豊竹肥前掾 座元豊竹東治 作者しば叟他 浄瑠璃役割 寛政元酉二月 大坂大和屋吉兵衛他大坂一軒江戸二軒

HAN

二〇 鐘は上野か花雲佐倉曙
浅草か

半一刊

(神靈怪談花雲佐倉曙) 七行本 作者佐久間松長軒 登与口玉和軒 嘉永六載癸丑九月 大坂加嶋清助

HAN

二〇 御陣九州彦山権現誓助剣
地理八道

半一刊

七行本 座本竹本千太郎(内題下) 作者梅野下風 近松保蔵 太夫連名 天明六年午閏十月十八日 大坂山本九葉亭他大坂三軒京一軒江戸一軒

HIK

二〇八 日高川入相花王

半一刊

十行本 作者竹田出雲他 宝曆九年乙卯二月朔日 京菊屋七郎兵衛

HID

二〇九 常磐御前姫小松子日の遊
熊野御前

半一刊

七行本 竹本大和掾 竹田出雲掾 作者吉田冠子他 太夫連名 宝曆七年丁巳二月朔日 京山本九兵衛
衛他大坂一軒江戸一軒

HIM

二一〇 装束紺奴服比良嶽雪見陣立
指物金御幣

半一刊

七行本 座本竹本千太郎(内題下) 作者芝屋芝叟 梅野下風 太夫連名 天明六年午六月五日 大坂山本九葉亭他京一軒江戸一軒大坂一軒 玉水源次郎(外題下)

HIR

二一一 逆梅松
矢旅梅 ひらかな盛衰記

半一刊

七行本 作者文耕堂他 元文四己未歲四月十一日

HIR

二一二 蛭小嶋武勇問答

半一刊

七行本 作者千前軒門竹田小出雲他

HIR

二一三 藤原秀郷俵系図

半一刊

七行本 豊竹上野少掾 作者並木宗助 安田蛙文 大坂正本屋九左衛門

FUJ

二一四 (振袖天神記)

半一刊

七行本 作者近松半二他 明和六己丑年正月廿七日

FUR

二一五 武烈天皇麟

半一刊

十行本 作者為永太郎兵衛 京菊屋七郎兵衛

BUR

二一六 武田信玄本朝廿四孝
長尾謙信

半一刊

七行本 座本竹田因幡掾(内題下) 作者近松半二他 明和三年丙戌正月十四日 大坂加嶋清助

HON

二一七 泉州小田居茶屋三日太平記
摂州殿下茶屋

半一刊

七行本 座本竹田文吉(内題下) 作者近松半二他 明和四年丁亥臘月十四日 大坂加嶋清助 紙屋与右衛門(外題下)

MIK

二八 とへり見取浄瑠璃

半二刊

京山本九兵衛他大坂一軒江戸一軒 極彩色娘扇・名筆傾城鑑・平家女護嶋・双生隅田川・大塔宮囃鑑の一部を所収

MID

二九 亀鉦軍略片袖縁起融通大念仏

半一刊

七行本 豊竹悦太夫(内題下) 作者佐川藤太 浄瑠璃役割 文化八辛未年五月 大坂西沢九左エ門他江戸一軒京二軒 大坂本屋清七(外題下)

YUZ

三〇 有職鎌倉山

半一刊

七行本 豊竹此太夫 座本豊竹此母(内題下) 作者菅専助 中村魚眼 太夫連名 寛政元己酉年六月廿二日 京今井七郎兵衛他大坂一軒

YUU

2 段物集

三一 (音曲東西丸)

半一刊

ONG

三二 (清元寄本)

大一刊

四季三葉草ほか十曲合冊

KIY

三三 にはほ紅葉集

半一刊

河東節 江戸半太夫 江戸いがや勘右衛門

KOU

三四 (常盤津稽古本)

半一合七刊

六行七冊合綴(題簽)

TOK

三五 常磐津稽古本

小一刊

〔浄るり角もつこう式の巻〕 江戸上州屋重蔵
〔よせ本〕

TOK

三六 (常磐津正本集成)

半一刊

常磐津文字太夫・常磐津小文字太夫正本 江戸いがや勘右衛門

TOK

三七 宮古路花会

横一刊

宮古路豊後直伝 大坂糸屋市兵衛

MIY

3 稽古本

三六 片岡忠義の段

半一刊

〔日本賢女鑑十冊目〕 四行稽古本 嘉永二年酉二月再版 京菊屋七良兵衛他四軒

KAT

三九 勘作住家の段

半一刊

〔日蓮記三段目〕 四行稽古本 京菊屋七良兵衛他四軒

KAN

三〇 在所の段

半一刊

〔道中亀山記六ツ目〕 四行稽古本 京菊屋七良兵衛他四軒

ZAI

三一 質店のだん

半一刊

〔染模様妹背門松〕 四行稽古本 京菊屋七良兵衛他四軒

SIT

三二 浜松小家の段

半一刊

〔増補朝がほばなし〕 四行稽古本 嘉永六年丑五月 京菊屋七良兵衛他四軒

HAM

三三 福島逆櫓松

半一刊

〔ひらかな盛衰記三の切〕 五行稽古本 大坂加嶋屋清助

HUK

4 その他

三四 音曲鼻けぬき

小一刊

〔はなけぬき〕 寛政九年丁巳七月 大坂勝尾屋六兵衛他一軒

ONG

三五 浄瑠璃大系図

小三刊

竹本筆大夫小鷹翁考 平安狂言堂松春翠子訂 天保十三寅年十月 大坂伊丹屋善兵衛他四軒 浪華書

浪華書

肆高橋興文堂梓（表返）

二三 五行浄瑠璃外題目録

横一刊

嘉永三庚戌年七月 大坂近江屋善兵衛他四軒 七行通シ本目録（二丁表）

JYO

二七 浄るり早合点

小一刊

〔音曲譜様
口授秘伝
秘曲抄〕 浄瑠璃早合点 明治三十四年十月十五日 編集者鳥井正之助 大坂竹中清音堂

JYO

二六 浄瑠璃秘曲抄

小一刊

宝曆七丁丑年四月開板 安永四乙未年十一月改正 浪華柏原屋佐兵衛版

JYO

二九 浄瑠璃濫觴

半一写

JO

二〇 声曲類纂

大六刊

齋藤月岑幸成編集 長谷川雪堤宗一画 天保己亥季秋稟歲 弘化丁未季冬發行 明治廿三年十月三十日増補印刻 東京武田伝右衛門

SEI

二二 文楽今昔譚

大一刊

木谷蓬吟著 昭和四年十二月二十六日 『道頓堀』編集部

BUN

三 その他

二四 糸のしらべ

横一刊

大坂柏原

ITO

二三 新増大成糸のしらべ

横二刊

〔増大成糸のしらべ〕 津山檢校校訂 浅山普洲画 文化九壬申年夏 大坂柏原与左衛門他京

ITO

二四四〔狂言記〕

横一刊

二四五 久世舞要集

半二刊

〔乱久世舞要集〕 上巻・下巻とも二十六番ずつ所収 貞享四年丁卯五月吉日 京山本長兵衛

二四六〔ことのくみ〕

横一刊

元禄七甲戌九月日 京梅村弥右衛門他同一軒江戸一軒

二四七 西国巡礼歌諺註

半一刊

享保十一丙午歳 大坂柏原屋清右衛門

二四八 芝居と茶屋町〔原稿〕

一写

末尾に「本稿執筆者は郷土史家日置謙先生直筆也」

二四九〔祝 栄〕

半一刊

下川辺拾水画 明和八辛卯年正月吉日 京浅井庄右衛門他二軒

二五〇 流当 囃 謳

横一刊

元禄五歳壬申初夏吉日 江戸万屋清兵衛他京一軒大坂一軒

二五一〔藤井紫影原稿〕

一写

「傾城若紫の紹介」の原稿 土田衛氏宛中村幸彦氏書状付

二五二 松の葉

半四刊

二五三 役者評判記古今題名通覧〔原稿〕

一写

冒頭に「生月春明は『俳家大系図』の著者、伊勢の人にして本来は国学者なり（以下略）」

二五四〔乱曲扇拍子〕

横一刊

宝永四年亥弥生吉日 京岡田

RAN

YAK

MAT

HUJ

JYO

SYU

SHI

SAI

KOT

KUS

KYO

II
そ
の
他

一 総記

二五	雲萍雜誌	大四刊	柳里恭著 天保十三年寅十二月官許同十四年卯五月刻成発行 江戸伊勢屋藤七他一軒	UNP
二六	女重宝記	半二刊	〔女重宝記大成〕 〔系入女重宝記〕 元禄五年壬申五月吉祥日 江戸万屋清兵衛他大坂一軒京一軒	ONN
二七	女重宝記	大一刊	〔新版 系入女重宝記大成〕	ONN
二八	頭書 増補訓蒙図彙大成	半一〇刊	中村楊斎纂輯 下河辺拾水画 寛政元年己酉三月吉辰 京九臯堂 京弘簡堂須磨勘兵衛〔裏見返〕	KIN
二九	仮名世説	半二刊	杏花園蜀山編 文政七年歲在甲申閏八月上浣〔序〕 江戸青雲堂英文蔵	KAN
三〇	金持重宝記	半一刊	〔人鏡論〕 元禄七甲戌歲十一月朔日 大坂森田庄太郎	KAN
三一	錦囊万代宝鑑	半一刊	〔男重宝〕 〔妙術博物筌〕	KIN
三二	絹布重宝記	横一刊	田楚洲編 天明九年己酉正月 京武村嘉兵衛他二軒	KEN
三三	三養雜記	大四刊	山崎美成著 明治廿三年寅五月譲受 愛知県梶田勘助	SAN

二四 還魂紙料

大二刊

柳亭種彦編 文政九年丙戌冬十二月 京植村藤右衛門他大坂一軒江戸二軒

SUK

二五 続和漢名数

半一刊

〔新続和漢名数〕 元禄八年乙亥首夏吉辰 京水谷小兵衛他一軒 京出雲寺和泉掾〔裏見返〕

ZOK

二六 〔昼夜重宝記〕

横一刊

元禄三庚午歲五月吉旦 大坂平兵衛他京一軒江戸一軒

CHU

二七 〔手本重宝記〕

半二刊

元禄八乙亥稔正月吉辰

THE

二八 増補男調法記

大一関刊

〔新版男重宝記〕 京吉野屋藤兵衛

NAN

二九 南畝莠言

大二刊

杏花園主人著 門人丈宝亭筆録 江戸岡田屋嘉七

NAN

三〇 農家調宝記

半三刊

高井伴寛思明編〔初編〕文化六己巳年孟春原刻 安政三丙辰年季夏再刻 江戸和泉屋金右衛門〔二編〕文化十四年丁丑孟春原刻 安政四年丁巳仲冬再刻 江戸和泉屋金右衛門〔三編〕文政五年壬午仲春原刻 安政四年丁巳仲冬再刻 江戸和泉屋金右衛門

NOU

三一 農家調宝記

半四刊

高井蘭山著〔初編〕三篇 大蔵永常著〔続録〕〔豊稼録〕〔初編〕文化六己巳年孟春原刻 安政三丙辰年季夏再刻 江戸和泉屋金右衛門〔二編〕文化十四年丁丑孟春原刻 安政四年丁巳仲冬再刻 江戸和泉屋金右衛門〔三編〕文政五年壬午仲春原刻 安政四年丁巳仲冬再刻 江戸和泉屋金右衛門〔続録〕文政九丙戌年再板

NOU

三二 秘伝世宝袋

半一刊

明和二乙酉孟春 京野田藤八〔裏見返〕 江戸須原茂兵衛他同三軒大坂三軒

HID

三三 武家重宝記

半一関刊

卷一のみ

BUK

二七四 本朝世事談綺

半三刊

〔近代世事談〕 享保十九甲寅正月梓行 天保七丙申九月求版 江戸丁子屋平兵衛他大坂一軒 大坂河内屋茂兵衛他京一軒江戸八軒大坂二軒（裏見返）

HON

二七五 本朝俗説弁

半七刊

幡龍子井沢節長秀著 宝永下亥之春（跋） 京茨木多左衛門

HON

二七六 唐土訓蒙図彙

大四關刊

MOR

二七七 用捨箱

大三刊

柳亭種彦著 東京松山堂藤井利八

YOU

二七八 和漢名数

半一刊

貝原益軒編纂 元禄季壬申初冬吉辰

WAK

二七九 和漢名数

半二刊

〔増補和漢名数〕 元禄五季壬申初冬吉辰 明和二年乙酉猛春吉辰再刻 京中野宗左衛門

WAK

三 仏 教

二八〇 観音経早読絵抄

半一刊

元文四乙未年正月吉日 吉文字屋市兵衛他一軒 京藪田新兵衛（裏見返）

KAN

二八一 元亨釈書

大五關刊

師鍊撰 卷九、卷十八

GEN

二八二 新刻看命一掌金和解

横一刊

釈氏一行著 胡氏文会堂校 馬場氏信武和解 宝永二乙酉年九月吉 京上村平左衛門他大坂二軒

SHI

四言語

二六三 訓蒙文家必用

大二刊

〔和語文家必用〕 人見直蓬友竹輯 正徳六丙申稔二月穀旦 撰陽書肆藏版

二六四 訓蒙文家必用

半二刊

正徳六丙申稔二月穀旦 大坂楽義堂藏版他同一軒江戸一軒

二六五 訓蒙用字格

半二刊

伊藤長胤原藏輯 正徳元年辛卯六月吉旦

二六六 本津草

半一闕刊

〔絵もつ草〕 巻下のみ 享保十三戊申稔初冬吉辰 京岡本半七他同一軒江戸一軒

五文学

二六七 安名手本執心廓

中一刊

〔茶番狂言安名手本執心廓〕 東西散人案

二六八 あみたはたか物語

半一刊

二六九 〔小野浮世源氏絵〕

中一刊

山東庵京山作 香蝶楼国貞画 天保八丁酉年正月吉旦発市 江戸森屋治兵衛

UKI

AMI

ANA

MOT

KUN

KUN

KUN

二九〇	宇和志満集	半一刊	長尾真海編 明治二十二年一月佳辰(序)	UWA
二九一	〔近江国大神物語〕	中一刊	「犬かみ」(柱) 鳥居清経画	OUM
二九二	〔太田垣蓮月尼消息〕	軸一写	小寺韶堂宛消息二通	OOT
二九三	御伽百物語	大一関刊	白梅園主鷺水作	OTO
二九四	踊形容花鏡	中一刊	〔忠臣蔵評判〕 柳水亭種清作 一陽齋豊国画 甘泉堂	ODO
二九五	笠 附集	横一刊	〔誹諧指南笠〕 大坂玉水源二郎	HAI
二九六	月令博物筌	横一六刊	〔 ^{季寄} 改正月令博物筌〕 貝原先生歳事増補 鳥飼洞齋翁編述 文化三丙寅歳(秋の部) 文化元年甲子臘月(冬の部) 大坂堺屋新兵衛他三軒	KAI
二九七	頭鴨長明方丈記	大一刊	明曆四戊戌正月吉日 長谷川市良兵衛	KAM
二九八	かわつのうみ	半一刊	元文五年庚申八月吉日 京山村半右衛門他大坂二軒	KAW
二九九	義経記評判	大一関刊	卷第八のみ 元禄十六癸未歳孟春大吉祥日 京安浦市兵衛	YOS
三〇〇	狂歌毛毬俵	大一刊	文政十年(序) 越中富山紅屋伝兵衛	KYO

三〇一 狂歌言葉海

横一関刊

路芳齋林老翁編 第三・第四・第五編のみ 寛政七年歳次乙亥初秋 江戸須原屋茂兵衛他大坂四軒京二軒

KYO

三〇二 狂歌言葉海

横一関刊

路芳齋林老翁編 第一・第二編のみ

KYO

三〇三 狂調真寸鏡

半一刊

栗柯亭本端作 享保二十一年辰正月 大坂安井嘉兵衛

KYO

三〇四 虚字解

中一関刊

下卷のみ 明治九年五月十八日版權免許 京都藤井孫兵衛

KYO

三〇五 〔許六の文〕

軸一写

許六書状の軸装

KIY

三〇六 〔蔵〕

横一刊

KUR

三〇七 けいせい竜昭君

横一関刊

KEI

三〇八 当恋のふみつくし

横一刊

京

KOI

三〇九 天明元五年二始 寛政二戌年二終 転倒泉夢物語

大二写

寛政二年戌九月朔日 翹帆舎

KOK

三〇〇 〔御前於伽〕

大三関刊

都の錦作 卷一・四・五のみ

GOZ

三〇一 諺草

半一合五刊

貝原好古纂輯 元禄十四年辛巳春正月吉旦 田中庄兵衛(裏見返) 京河内屋藤四郎他江戸八軒大坂二軒

KOT

三三	さかのしやかほんち	半一写	
三三	〔寒川風骨消息〕	軸一写	吉浦祐全宛消息
三四	小夜嵐	半五刊	江戸出雲寺万次郎他十二軒
三五	猿蓑集	半二刊	〔猿蓑〕元禄四年(跋) 京井筒屋庄兵衛叔
三六	子孫大黒柱	大一關五刊	林鐘吉日 江戸 須原屋茂兵衛他大坂一軒京一軒 「大黒寿命散」 広告刷り物一枚有
三七	〔七部集〕	小一刊	
三八	釈迦如来八相物語	大五刊	〔釈迦八相物語〕 寛文六丙午歳 大坂塩屋平助
三九	〔袖珍異名集〕	小一刊	
三〇	〔出世駒引銭〕	中一刊	「よさく」(柱)
三一	酒餅論	半一刊	六月吉日 三須屋又右衛門
三三	詩林良材	半七關刊	詩林良材乾之中、詩林良材後編二・三・四・七・八・十 宝永三丙戌歳孟春穀旦 京植村藤右衛門
			SIR SYU SYU SYU SYA HAI SIS SAR SAY SAM SAG

三三 新うす雪物語

大五刊

〔絵入新うす雪物語〕 大森善清画 「みやこ賢女鑑」(内題下) 正徳六丙申歳正月吉辰 大坂河内屋 向井八三郎

SIN

三四 新累解脱物語

半一闕刊

曲亭馬琴纂修

SIN

三五 〔新增補西国きたむ〕

中一闕一刊

為永春水補綴 梅蝶樓国貞画 二編下巻のみ 万延二酉年 江戸佐野屋喜兵衛

SAI

三六 善光寺縁起

半五刊

〔三回善光寺如来縁起〕 元禄五壬申十月吉旦 鈴木太兵衛

ZEN

三七 千紅万紫

中一刊

江戸岡田屋嘉七

SEN

三八 〔仮名穿鑿抄〕

中一刊

文化元甲子夏日

KAN

三九 〔短冊帖 1〕

一写

TAN

四〇 〔短冊帖 2〕

一写

TAN

四一 〔短冊帖 3〕

一写

TAN

四二 茶番独稽古

中一刊

嘉永五壬子のとし初秋(見返)

CYA

四三 忠義武道播磨石

半三刊

〔武道忠義太平記〕 宝永八年辛卯正月吉日 京菱屋治兵衛

CYU

三三	浪華四時雜詞	半一刊	(浪華四時雜詠) 嘉永二己酉歲 大坂藤屋喜七他同一軒江戸二軒	NAN
三五	耳底記	半三刊		NIT
三六	俳諧歳時記	横二刊	曲亭主人纂輯 享和癸亥暮春 江戸葛屋重三郎他大坂一軒名古屋一軒	HAI
三七	誹諧通言	小一刊	(三都花街通言) 並木五瓶著 文化丁卯臘月(序)	HAI
三八	風俗文選	大五刊	(本朝文選) 五老并許六選 宝永三丙戌年秋九月吉日(跋) 京野田治兵尉	FUU
三九	(風流菊水卷)	半五刊	(新版風流菊水卷) 甚楽斎作 宝曆十三歲未正月吉日 江戸須原屋茂兵衛他大坂一軒 (繪入)	FUU
四〇	風流志道軒伝	半四關刊	風来山人作	FUU
四一	筆のうみ四国の聞書	中一刊	柳亭種彦作 国貞画 明治七年(目錄) 葛屋吉藏 乙丑初春開板(序)	FUD
四二	本朝怪談故事	大一刊	春鶯廊元輯 正徳六年丙申孟春吉日 京小河太左衛門他一軒	HON
四三	万葉集大考	大六刊	(万葉考) 明和五年子仲春發行 天明五年巳仲春求板 江戸柏屋金兵衛他大坂一軒	MAN
四四	碁太平記 白石咄 宮城の信夫	中二刊	国政画 明治十六年 東京関根孝助 金英堂(表紙)	GOT

三五 武者物語

大二關一刊

松田一染入道秀任撰

MUS

三六 明治冠附五百題

横一刊

泉原貞藏撰 明治十五年十二月一日 大阪前川善兵衛

MEI

三七 由縁斎置みやけ

半一刊

享保十九年寅十月 大坂田原屋平兵衛他三軒

YUE

三八 よものあか

半二刊

江戸葛屋重三郎(蔵板目録)

YOM

三九 梁塵愚案鈔

半二刊

〔新梁塵愚案鈔〕元禄二己巳年九月中旬
〔板〕

RYO

七 歴 史

三〇 〔永代年代記大成〕

中一刊

細川並輔編輯 弘化元辰年春発行 弘化三丙午二月開版 江戸和泉屋市兵衛他六軒

EIT

三一 新補倭年代皇紀絵章

半七刊

宝曆十庚辰年

YAM

三二 中朝事実

大二刊

大正元年十一月一日 素行会代表古川黄一 民友社「原本松浦伯爵家之蔵書也明治己酉五月於学習院総寮部源希典謹写」(奥書)

CYU

三三 和年曆調法記

横一刊

天保十四卯年五月刻成 京和泉屋順三郎他三軒

NEN

八 地 理

三五	早引人物故事	横一関二刊	〔古今早引人物故事〕 川関惟充著 上巻のみ	HAY
三五	日次記	半一写	延宝六年二月より七年八月迄	HIN
三六	武江年表	大八刊	斎藤月岑撰 嘉永三年庚戌十一月 大坂河内屋嘉兵衛他同二軒江戸二軒 京出雲路文次郎他大坂二軒 江戸十一軒〔裏見返〕	BUK
三七	芦分船	大六刊	〔鑿波芦分舟大坂鑑〕〔複製〕 大正十三年四月十五日 古版地誌刊行会代表者木村助次郎 〔延宝三季陽月吉辰 山本理兵衛〕	ASI
三六	伊勢参宮按内記	半一刊	〔両宮按内記〕 宝永四丁亥歳九月吉日 京今井七郎兵衛他江戸一軒大坂一軒伊勢山田一軒	ISE
三五	江戸砂子温故名跡誌	半三合六刊	〔江戸名跡誌〕 菊岡沾涼著 享保十七壬子歳仲夏吉旦 江戸万屋清兵衛	EDO
三六	代万大坂町鑑	横一刊	宝曆六年丙子十一月 大坂柏原屋清右衛門	OOS
三六	京都名所めぐり	横一刊	〔明治京都名勝便覧図会〕 石田才次郎編輯 京風月庄左衛門他九軒	KYO
三六	〔京羽二重〕	横三関三刊	卷四から六迄 貞享二乙丑歳九月吉日 京小嶋弥三右衛門他一軒	KYO

三六三 改正 京羽二重大全

横五刊

延享二乙丑年孟春 京水雲堂橋屋治右衛門

KYO

三六四 京町鑑

横一関刊

宝曆辛午暮春(序)

KYO

三六五 京めい所あん内

半一刊

KYO

三六六 日本国花万葉記

横五関刊

卷九・十・十二・十四上・十四下のみ 元禄十丁丑歳仲夏上梓 天保乙未歳仲秋改正補刻 大坂河内屋太助

KOK

三六七 日本国花万葉記

横七関刊

天保十年巳亥十月改正 大坂河内屋太助

KOK

三六八 (袖中都名所大全)

横一刊

池田東籬悠翁編 井上春曙齋画 天保十年亥六月 京翠松園 平野屋茂兵衛他一軒

SYO

三六九 (増刪道知辺)

横一刊

明和二年乙酉極月 伊勢山田藤原庄兵衛他同一軒 紀州粉川一軒

MIT

三七〇 名所旧跡 道しるべ 旅行便覧巻頭 東海道案内記

横一刊

(江戸道中記) 安政二乙卯年補刻 江戸須原茂兵衛他京一軒 大坂一軒

TOU

三七二 増東海道巡覧記

横一刊

芦橋堂適志編 寛延四年未孟春良辰 京野田弥兵衛他江戸一軒 宝曆五年亥孟春校合

TOU

三七三 奈良さらし

大一写

小瀬新宅写 「天保七丙申歳初夏写之」 (貞享四丁卯曆孟夏吉日 京西村喘月堂)

NAR

三七三 改正南都名所記 絵入

半一刊

安永三甲午年 文化二戊丑正月吉日改 南都絵図屋庄八

NAN

三五四 改正
繪入南都名所記

半一刊

NAN

三三五 改正
繪入南都名所記

半一刊

文化二乙丑年 文政十乙亥年十月吉日改 南都繪図屋庄八

NAN

三三六 南都名所記

半一刊

NAN

三三七 播磨名所巡覧図繪

大一闕刊

〔播州名所巡覧図繪〕

HAR

三三八 本朝俗諺志

半五刊

米山翁沾涼著 江戸須原屋平左衛門

HON

三三九 都順礼ひとりあんない

横一刊

MIY

三四〇 都名所図會

大六刊

秋里離島著 春朝齋竹原信繁画 安永九年子中秋 京吉野屋為八

MIY

三四一 大和廻り控

横一写

YAM

九 政治・法制

三四二 小笠原諸礼大全

半一闕刊

〔兜座鎮方小笠原諸礼大全〕 法橋玉山著 石玉峯画 上巻のみ 大坂河内屋嘉兵衛の広告

OGA

三三 小笠原流諸礼調法記

半一刊

〔童子専用諸礼調法記〕 連水春曉齋術画 享和三年癸亥孟春 京菱屋治兵衛
増補絵入

OGA

三四 諸国年中行事

小一刊

享保二丁酉年三月吉旦 京長村半兵衛

SYO

三五 新諸礼集

大合一刊

寛永九壬申九月吉旦 中野市右衛門

SYO

三六 諸礼筆記

大二關刊

〔林氏諸礼筆記〕 林立齋家藏板

SYO

三七 東都遊覽年中行事

中一刊

〔四季江戸年中行事〕 幽篁庵主人編撰 颯齋曙山画図 嘉永四年（序） 京出雲寺文次郎他同一軒大坂
二軒江戸三軒

TOU

三八 女子愛敬都風俗化粧伝

大三刊

画工速水春曉齋 文化十酉初秋 京河南嘉兵衛他同一軒江戸一軒大坂一軒

MIY

三九 礼容筆粹

半一刊

〔諸礼大成前集〕 享保二歳丁酉孟春吉旦 大坂油屋与兵衛他京一軒

REI

一一 教育

三〇 諫草

大一刊

宝永三歳三月十五日

ISA

三一 女諸礼集大全

大一刊

ONN

三三 女 大 学

大 一 刊

〔女大学宝箱〕 貝原益軒著 宝曆元辛未十一月吉日 江戸小川彦九郎他大坂一軒

ONN

三三三 諸礼教訓鏡

半 一 刊

SYO

三三四 世話字往来教車

中 一 刊

浪花禿帚子作 歌川国直画 安永五丙申年正月開板 寛政四壬子四月吉日再版 江戸西村屋与八

SEW

三三五 世話字往来教車

中 一 刊

浪花禿帚子作 歌川国直画 安永五丙申年正月開板 文政五壬午年正月再板 江戸西村屋与八

SEW

三三六 初学万宝古状揃大全

半 一 刊

九日庵素英輯 百井堂千戸画 宝曆七年丁丑春原版 文化五年戊辰夏再刻 天保十五年甲辰秋四刻 江戸須原屋茂兵衛他大坂一軒京一軒

BAN

一 二 理 学

三三七 〔伊勢曆 1〕

八 刊

延宝四・八・九・天和四・元禄三・四・七・宝永五

ISE

三三八 〔伊勢曆 2〕

二 二 刊

文政二・四・八・十・十二・十四・天保十二・十四・弘化三・五・嘉永四・六・八・文政三・五・七・文久二・四

ISE

三三九 〔伊勢曆 3〕

三 五 刊

寛政六・七・九・十・文政四・五・十四・天保三・六・八・十四・弘化四・五・嘉永二・四・六・八・慶応四

ISE

三四〇 〔伊勢曆 4〕

一 八 刊

嘉永三・六・八・安政三・七・文久二・四・慶応二・四・明治二・三・大正十五・昭和三

ISE

四〇一 金石年表

半一刊

西田直養輯 天保九年戊戌仲秋 京姪子屋市右衛門他大坂一軒江戸一軒

KIN

四〇二 增補曆略註

中一刊

〔增補頒曆略註〕 文政十一年戊子仲夏 京大経師降屋内匠

KOY

四〇三 直指通変占

半一関刊

三卷・四卷のみ

JIK

四〇四 〔色道秘密占〕

横一関刊

京谷村清兵衛

SIK

四〇五 東方朔秘伝置文

半一関刊

卷上一〜三 貞享三丙寅歳二月廿一日 大坂森田庄太郎

TOU

四〇六 東方朔秘伝置文

半一関刊

〔^吉占〕東方朔秘伝置文 卷上一から三のみ 貞享三丙寅歳二月廿一日 大坂森田庄太郎

TOU

四〇七 倭小学

大六刊

元禄九丙子歳八月吉日 京野田弥兵衛

YAM

一三 医学

四〇八 〔医道日用重宝記〕

横一刊

〔医道日用綱目〕 〔医道重宝記〕 大坂渋川称觥堂柏原清右衛門 宝永己丑季秋吉日〔序〕

IDO

四〇九 外療新明集

横三刊

〔外科新明集〕 正徳六上春吉祥日 京栗山宇兵衛

GER

四〇 齋民外科調宝記

横一刊

延享三丙寅年 大坂柏原屋与左衛門

SAI

四二 小児療治調法記

横一刊

正徳五乙未年孟春吉日 大坂柏原屋清右衛門

SYO

四三 鍼灸重宝記綱目

横一刊

〔鍼灸重宝記〕 本郷正豊編集 寛延己巳年霜月 江戸須原茂兵衛他大坂一軒京一軒

SIN

四三 増補家伝預業集

横七刊

〔新增家伝預業集〕 〔合増補家伝預業集〕 宝永七庚寅歳五月吉日 大坂大野木市兵衛

KAD

一四 産業

四四 匠家必用記

半一刊

〔俗説匠家必用記〕 上巻のみ 立石定準記 江戸千鐘房〔見返〕

SYO

四五 町人囊底払

半一合二刊

享保己亥年林鐘殺日 京柳枝軒

CHO

一五 芸術

四六 あやね竹

大三刊

元禄十五壬午歳正月吉日 京金屋平右衛門〔序〕

AYA

四七 千字文

折一

〔文徵明千字文〕(複製)

SEN

四八 西川祐信画譜

大1刊

明治四十四年九月一日 雅俗文庫

NIS

四九 万宝書画全書

横七刊

〔書画名家全書〕 嘉永三戊十一月 江戸須原屋茂兵衛他江戸四軒京二軒大坂二軒
〔必携〕

BAN

四〇 本朝画工印伝

横三刊

元禄癸酉季冬(跋)

HON

四一 名作に見る日本版画

一刊

昭和六十二年 町田市立国際版画美術館 「あやね竹」 参考資料

MEI

一六 諸芸

四二 〔玄玄某経〕

半1刊

〔囲碁指南〕(仮表紙・打つけ書)

GEN

四三 新撰呪詛調法記大全

横1刊

明治版 東京吉田久兵衛他同二軒名護屋三軒大阪五軒京七軒 (天保十三年二月新板 京山城屋佐兵衛)

MAJ

四四 〔双六集〕

大1刊

双六二十三枚の貼り合わせ 名古屋井筒屋文助(十五枚) 松屋善兵衛(二枚) 豊田乗三郎(二枚)
版元不明(五枚)

SUG

四五 抛入花伝書

大1刊

(複製) 昭和五十二年五月二十日 思文閣 (貞享元甲子林鐘上濬月 江戸西村半兵衛他京二軒)

NAG

四六 秘事指南車

半一刊

〔妙術博物筌〕

HIJ

四七 新瓶花図彙

大二刊

〔複製〕昭和五十二年六月二十日 思文閣 (元禄十一年戊寅暮春日〔跋〕)

HEI

四八 〔見立番付〕

五〇刊

「大日本大相撲勇力関取鑑」他五十枚の一枚刷

MIT

四九 立花時勢粧

大三刊

〔複製〕昭和五十一年十二月二十日 思文閣 (貞享五年〔序〕)

RIK

四〇 頭立華指南

大二刊

〔複製〕昭和五十二年四月二十日 思文閣 (貞享第五曆辰孟春吉日 京西市郎右衛門他二軒)

RIK

四一 立花初心抄

大二刊

〔複製〕昭和五十二年五月二十日 思文閣 (延宝四年丙辰孟春吉日 京中村七兵衛他二軒)

RIK

四二 和漢名物茶入之記

横一刊

〔万宝全書〕下巻のみ 元禄七甲戌年孟春吉辰 浪華所生綱干氏基頼録 (文末)

WAK

一八 準漢籍

四三 中庸俚諺抄

半一刊

CYU

一九漢籍

四三 魁本大字諸儒箋解古文真宝後集 大二〇刊

〔新刊古文真宝〕 寛文丙午析木佳辰 京山本長兵衛

四四 魁本大字諸儒箋解古文真宝前集 半三刊

〔古文真宝前集素本〕 天和三年仲春 京弘簡堂須磨勘兵衛

四五 魁本大字諸儒箋解古文真宝前集 大二刊

〔文政古文前集〕 元禄四年辛未曆文月下絃 宝曆十二年壬午孟春吉旦重刻 京河南四良衛門他二軒
〔新刻古文前集〕 元禄四年辛未曆文月下絃 宝曆十二年壬午孟春吉旦重刻 京河南四良衛門他二軒
京吉野屋仁兵衛（裏見返し）

四六 籠頭韻字円機活法 小八刊

山崎昇編輯 明治十五年二月八日刻成發行 大阪府辻本信太郎他東京四軒西京二軒大阪四軒

ENT

KAI

KAI

KAI

書
名
索
引

凡 例

- 一、この索引は書名による五十音索引である。
- 一、書名の記載位置は整理番号で示した。
- 一、書名は見出しの書名の他、異称も採用した。角書をもつものは、角書を含めた書名も採用するように努めた。
- 一、配列の順序は文字の五十音順である。

書名索引

ア

あこぎの平次……………一三三
 汽分船……………二五七
 〔東土塵写絵怪談〕……………八六
 あなざくり……………八九
 安名手本執心廓……………一八七
 弟も合邦浪華名所古跡辻……………二〇二
 姉は宮の基太平記白石噺……………一七四
 妹はしの基太平記白石噺……………一八八
 あみたはたか物語……………一八八
 あやね竹……………四一六
 あらし過去物語……………一九六
 〔安政七役者商売往来〕……………三三
 イ
 五百崎虫の評判……………九〇
 〔開基指南〕……………四三
 謙草……………三九〇
 〔伊勢曆一〕……………三九七
 〔伊勢曆二〕……………三九八
 〔伊勢曆三〕……………三九九
 〔伊勢曆四〕……………四〇〇
 伊勢参宮案内記……………三五六
 伊勢平氏年々鑑……………一三三
 市川白猿口上……………九一
 一谷嫩軍記……………一四〇
 市村座狂言評判記……………一

イ

一夜附……………九二
 井筒外記左衛門屋敷之段……………八三
 〔医道重宝記〕……………四〇八
 〔医道日用綱目〕……………四〇八
 〔医道日用重宝記〕……………四〇八
 糸のしらべ……………四三三
 妹背山婦女庭訓……………二二五
 〔以代美満春〕……………二二六
 いろは歌義臣整……………二二六
 いろは物語……………二二七
 ウ
 〔浮世源氏絵〕……………二八九
 浦嶋太郎倭物語……………二一八
 宇和志満集……………一九〇
 雲萍雜誌……………二二五

エ

〔水代年代記大成〕……………二五〇
 〔名人女重宝記〕……………二五六
 〔絵入新うす雪物語〕……………二五三
 〔絵入もつ草〕……………二八五
 江戸砂子温故名跡誌……………二五九
 〔江戸道中記〕……………二七〇
 江戸文七賢婦男作五箇金……………二四四
 大坂文七賢婦男作五箇金……………二四四
 絵本いろは仮名四谷怪談……………二八五
 〔絵本桂川恋仇浪〕……………二九九
 絵本亀山話……………二九四
 絵本胡蝶夢……………二九五
 絵本太功記……………二九六
 絵本玉藻譚……………二九六
 絵本舞台扇……………二九七
 役行者大峰桜……………二四〇

オ

扇矢敷四十七本……………二九
 奥州安達原……………二四一
 近江源氏先陣館……………二四二
 〔近江国大神物語〕……………二九一
 大坂町鑑……………二六〇
 〔太田垣退月尼消息〕……………二九二
 小笠原諸礼大全……………二八三
 小笠原流諸礼調法記……………二八三
 小栗判官車街道……………二四三
 おおの新版歌祭文……………一八八
 小田の結納木下蔭狭間合戦……………一七六
 斎藤の色紙……………一七六
 御伽百物語……………二九三
 男作五箇金……………二四四
 断形容花鏡……………二九四
 〔小野浮世源氏絵〕……………二八九
 小野茨城七小町……………二〇〇
 深草公辰時……………二〇〇
 〔おは九桂川恋仇浪〕……………一九九
 〔長右衛門桂川恋仇浪〕……………一九九
 織合襦袢錦……………一八〇
 音曲語……………二二七
 〔口授秘伝浄瑠璃早合点〕……………二二七
 〔音曲東西丸〕……………二二二
 音曲鼻けぬき……………二三四
 女殺油地獄……………二四五
 女諸礼集大全……………二九一
 女大学……………二九九
 〔女大学宝箱〕……………二九九
 女重宝記……………二五六
 〔女重宝記大成〕……………二五六
 〔女重宝記伊達錦五十四郡〕……………二四四
 カ
 改正南都名所記……………二七三
 改正京羽二重大全……………二六三
 増補京羽二重大全……………二六三
 魁本大字諸備箋解古文真宝後集……………二四四

魁本大字諸儒箋解古文真宝前集……………四三六

〔顔見世戯場噺〕……………一四二五

かゝ見山田錦絵……………一四六

加々見山田錦写本……………一四七

過去物語……………九八

笠附集……………二九五

累ヶ淵恋櫛……………八六

四國長明方丈記……………二九七

祇園祭礼信仰記……………一五七

大友細袖鏡……………一七六

義經記評判……………二九八

義士の書添……………一五八

岸姫松轡鏡……………一五九

鬼上官漢土日記……………一六〇

〔吉〕東方朔秘伝置文……………四〇六

狂歌毛毬依……………三〇〇

狂歌言葉海……………二〇三

狂言真寸鏡……………三〇三

〔狂言記〕……………二〇四

京都名所めぐり……………三六一

〔京羽二重〕……………三六一

京羽二重大全……………三六一

京町鑑……………三六四

京土産名所并簡……………一六一

京めい所あん内……………三六五

虚字解……………三〇四

〔季〕改正月令博物考……………二九五

清傲……………一〇一

〔清元寄木〕……………三三三

〔許六の文〕……………三〇五

金石年表……………四〇二

〔近代世事談〕……………二七四

錦囊万代宝鑑……………二六一

訓蒙図彙大成……………二五八

〔草の種〕……………一〇一

楠正成軍法実録……………一六二

久世舞要集……………二四九

久米仙人古野桜……………三〇三

〔蔵〕……………三〇三

車還合戦帳……………一六四

訓蒙文家必用……………二八三

訓蒙用字格……………二八五

〔ケ〕……………二八五

架情小食の色紙……………一六九

けいせい盃昭君……………三〇七

傾城出口柳……………一六八

〔外科新明集〕……………四〇九

劇場面史……………一〇三

劇場粉言幕の外……………一〇四

外療新明集……………四〇九

粧水納川堤……………一六七

〔玄女基経〕……………一〇三

元亨歌書……………一〇三

〔玄女基経〕……………一〇三

御座九州彦山権現督助剣……………二〇七

〔御前於伽〕……………二一〇

基太平記白石噺……………二七四

基太平記宮城の信夫……………二四四

白石噺味宮城の信夫……………二六六

同花万葉記……………二六六

〔海船役者浜真砂〕……………二八八

五天堂……………二七五

〔ことのみ〕……………二四六

蓬草……………二二二

木下蔭狭間合戦……………二七六

〔古評判記輝絵拾遺〕……………二

〔五福鏡善悪評判記〕……………二〇五

〔古文真宝前集素本〕……………四三

曆……………二七七

曆略註……………四〇二

金民回敵討雜物語……………二四九

金民回敵討雜物語……………二四九

金民回敵討雜物語……………二四九

利生記花上野苔の石碑……………二〇五

烟袖鏡……………二七八

サ

西国巡礼歌謠註……………二四七

在所の段……………二四〇

斎民外科調宝記……………四一〇

さかのしやかほんち……………二二二

逆轉松……………二二二

矢懸舞ひらかな盛衰記……………二二二

魁鐘碑……………二七九

〔三座例遣誌〕……………二〇六

狂言一夜附……………九三

〔寒川鼠骨消息〕……………二二三

小夜嵐……………二三四

狭夜衣鴛鴦劍翅……………二八〇

〔猿蓑〕……………二二五

猿蓑集……………二二五

沢村家質見……………二〇七

〔三葉草の種〕……………二〇三

〔三國善光寺如来縁起〕……………二〇三

三芝居声色舞台鏡……………二〇八

三芝居細見……………二〇九

三柱大夫五人娘……………二八二

三都花街通言……………二七七

〔三葉草〕……………二一〇

三養雜記……………二六三

直指通変占……………四〇三

しきしま操軍記……………二八二

〔色道秘密占〕……………四〇四

四季江戸年中行事……………二八七

遊覧江戸年中行事……………二八七

子孫大黒柱……………二八六

時代世話女節用……………二八三

時代新うすゆき物語……………二八五

〔七部集〕……………二二七

質店のだん……………二二二

〔現儀方小笠原諸礼大全〕……………二八三

〔遊園手引小笠原諸礼大全〕……………二八三

シ

〔出世駒引鏡〕……………二二〇

酒餅論……………二二二

祝文の碎取名歌の初恋しきしま操軍記……………二八三

生写朝顔話……………二八四

匠家必用記……………二八四

〔集衆射取服比良嶽骨見陣立〕……………二二〇

新瓶花凶象……………四七
 新撰祝詞調法記大全……………四三
 (新增家伝預業集)……………四二
 新增糸のしらべ……………四三
 (新增補西園きたむ)……………三五
 新富座俳優評判記 第九編……………三
 新富座俳優評判記 第三編……………四
 新富座俳優評判記 第四編……………五
 新富座俳優評判記 第七編……………七
 新富座俳優評判記 第十編……………九
 新富座俳優評判記 第八編……………一〇
 新富座俳優評判記 第六編……………一二
 新版歌祭文……………一六
 (新版女軍宝記大成)……………一七
 (新版当世芝居氣質)……………二〇
 (新版風流菊水卷)……………二九
 新諸礼集……………三五
 (新版男重宝記)……………三八
 (新版隱愚案抄)……………三九
 新補倭年代皇紀繪章……………五一
 (神靈怪談花雲佐倉曙)……………五二
 ス
 弁弁当……………二七
 首原伝授手習鑑……………二八
 遠魂紙料……………二五
 助六紙子仕立函面鑑……………二五
 (双六集)……………二四
 須磨都源平露麴……………二九
 隅田川恋の一軸……………三三
 セ
 声曲類纂……………二〇
 世話字往来教車……………二五

善光寺縁起……………三六
 千紅万紫……………三七
 (穿鑿抄)……………三八
 千字文……………四七
 泉州小田屋茶屋 三日太平記……………二七
 泉州地下茶屋……………二七
 ソ
 (増補道知辺)……………六九
 (増補朝がほばなし)……………七〇
 増補家伝預業集……………四二
 増補略註……………四三
 増生写朝顔話……………四四
 増補大成糸のしらべ……………四三
 増東海道巡覽記……………四七
 増補男調宝記……………四六
 (増補領略略註)……………四三
 (増補和漢名数)……………四九
 (奇説匠家必用記)……………四四
 統和漢名数……………四六
 染模様妹背門松……………四九
 (染模様妹背門松)……………四九
 タ
 たいしよくわん……………一九
 太平記菊水之巻……………二九
 太平記車道合戦桜……………四四
 住吉巻車道合戦桜……………四四
 尊氏將軍二代鑑……………四三
 武田信玄本朝廿四孝……………二六
 長尾謙景本朝廿四孝……………二六
 伊達脱阿同戯場……………八
 伊達錦五十四郡……………九
 玉の光……………二八
 田村磨鈴鹿合戦……………二五
 (短冊帖一)……………三九
 (短冊帖二)……………三〇

(短冊帖3)……………三三
 丹波与作……………六
 チ
 児源氏道中軍記……………九七
 (狂言安名手本執心塚)……………二六
 茶番独稱古……………三三
 忠義武道播磨石……………三三
 忠臣いろは四十七訓……………八七
 (忠臣蔵替役評判記)……………〇五
 (忠臣蔵評判)……………二九
 忠臣金短冊……………二八
 忠臣名譽契情小倉の色紙……………六五
 中朝事実……………五三
 (狂夜重宝記)……………二六
 中庸俚諺抄……………四四
 町人發底仏……………四五
 ツ
 通巻記念歌舞伎展覧会図録……………一〇
 市川家歌舞伎展覧会図録……………一〇
 中巻上か、見山旧錦絵……………四六
 テ
 (手本重宝記)……………二七
 天下茶屋敵討……………四
 天明元丑年二輪転倒泉歩物語……………九
 寛政二戌年二輪転倒泉歩物語……………九
 ト
 東海道案内記……………七〇
 東海道巡覽記……………七二
 (戯劇百人一首聞夜燦)……………二九
 (童子專用) 増補絵入諸礼調法記……………三三
 当世芝居氣質……………三〇
 (道中亀山記六ツ目)……………三〇

ホ

豊稼録……………二七一
 本朝怪談故事……………二七二
 本朝画工印伝……………二七三
 本朝世事談綺……………二七四
 本朝俗諺志……………二七八
 本朝俗説弁……………二七五
 本朝廿四孝……………二二六
 本朝文選……………二三八

マ

松の葉……………二五三
 持育待從源平布引滝……………二六九
 優美職人源平布引滝……………二六〇
 代大坂町鑑……………二六〇
 〔万延〕
 新編大しよくわん……………一九二
 万葉考……………二四三
 万葉集大考……………二四三

ミ

〔見立番付〕……………四二八
 三日太平記……………二二七
 見取浄瑠璃……………二二八
 關東家鎌倉三代記……………二五四
 關東朝鎌倉三代記……………二五四
 宮城の信夫……………二四四
 宮古路花会……………二二七
 都順礼ひとりあんない……………二二九
 都鳥吾妻の世話事……………八二
 〔都の節〕……………一六
 都風俗化粧伝……………三六八
 都名所図会……………三六〇
 妙術博物筈……………二六二
 妙術博物筈……………二六二
 妙々戯談……………二二五

ム

昔語梅田鳥……………一六
 武者物語……………二四五

メ

名作に見る日本版画……………四二
 〔明治京都名勝便覧図会〕……………三六一
 改正京都名勝便覧図会……………三六一
 明治冠附五百題……………三六六
 明治十一年俳優評判記……………五六
 〔明治〕
 演劇の歴史……………二七〇
 道しるべ東海道案内記……………二七〇
 旅行便覧……………二七〇

モ

本津草……………二八六
 唐土訓蒙図案……………二七六

ヤ

〔八百七拾本胡蝶夢〕……………九
 役者当満寿……………二四
 役者有難……………二五
 役者恵方参……………二六
 役者清神集……………二七
 〔役者外題鏡〕……………二八
 〔役者押巻帖〕……………二八
 役者外題撰……………二八
 役者現銀店……………二九
 役者金剛鏡……………二九
 役者金剛伝……………二九
 役者金剛力……………二九
 役者早速廻……………二九
 役者三世相……………二九
 役者四季詠……………二九
 役者正月詞……………二九
 〔役者商売往来〕……………二九
 俳優商売往来……………二九
 役者正札附……………二九

役者神事鏡……………三三
 役者新世帯……………四二
 役者酸辛甘……………四二
 役者全書……………四二
 役者早料理……………四二
 役者大極丸……………四二
 役者響言草……………四二
 役者珠玉尽……………四二
 役者多見眼……………四二
 役者智恵鏡……………四二
 役者千島肩位指……………四二
 役者註真庫……………四二
 〔役者手柄鏡〕……………四二
 役者当撰鏡……………四二
 役者謎懸論……………四二
 役者男紫花……………四二
 役者人相鏡……………四二
 〔役者初白粉〕……………四二
 役者花威草……………四二
 役者花見幕……………四二
 俳優眞砂……………四二
 役者扇扇升……………四二
 役者必説妙々痴談……………四二
 役者ひめ飾……………四二
 役者評判記……………四二
 俳優評判記……………四二
 俳優評判記十五編……………四二
 俳優評判記廿六号……………四二
 〔役者舞台扇〕……………四二
 役者文相撰……………四二
 役者武勇鏡……………四二
 役者舞遊問答……………四二
 役者不老紋……………四二

〔役者豊年蔵〕…………… 六八

役者豊歳蔵…………… 六八

〔役者ほめ〕〔葉六種〕…………… 三九

役者糸竹曲…………… 六九七三

役者三都鑑…………… 七〇七一

役者三組歪…………… 七三

役者名山尽…………… 七三

役者名物合…………… 七四七五七六

役者名物袖日記…………… 一三〇

役者遊見始…………… 七七

役者世々乃接木…………… 一三三

役者初渡橋…………… 七六

倭小学…………… 四〇七

大和廻り控…………… 二六一

ユ

〔辨得〕…………… 二一九

有職鎌倉山…………… 二二〇

由縁斎置みやけ…………… 二四七

融通大念仏…………… 二二九

ヨ

用捨箱…………… 二七七

よものあか…………… 二四八

ラ

〔乱曲扇拍子〕…………… 二五四

〔曲久世舞要集〕…………… 二四五

リ

立花時勢粧…………… 四一九

立華指南…………… 四二〇

立花初心抄…………… 四三三

阿宮按内記…………… 三六

梁原愚案鈔…………… 四九

〔林氏諸札筆記〕…………… 六六

礼容筆粹…………… 二八九

ワ

和年曆調法記…………… 三三五

和漢名数…………… 七六二七九

和漢名物茶人之記…………… 四三

大阪女子大学 椿亭文庫目録
附属図書館

平成十七年三月二十八日印刷

平成十七年三月三十一日発行

編輯 大阪女子大学
発行 上方文化研究センター

印刷 石田大成社